

農学校通りの修羅

柏葉公敬

新しい校舎にも 通勤路にも慣れた
今日も生徒だちと一緒に なんだかんだりした
おもしろかった

生徒だち弟みだいで めんこくて
なんぼでも訊いて来るから
私も分かるよう教えたくて

何でもかんでも やってしまふのす
とし子 あれがら一年二か月だ

とし子を探しに青森にも 樺太にも行った
あちこち尋ね歩いたども

見つけられなかった
んで 分がったのだ

おめはおれの中さいるのだ
何が面倒あれば おめはおれの考えば
そんだね と後押ししてくれる
とし子 おめに感謝しねばならぬ

修羅は ぶつぶつ云って

農学校通りの庚申塚の石を撫でる
稲荷林に群れ舞うからすだち

カーカーカーカー
背負う夕日が躍る

ダダスコ ダンコダンコ ダダスコダン
ザクザク鳴りはじめた雪道を

印刷所に向かう修羅
家の前で見送る交流電燈